

2. 学部授業科目

授業科目名 (英文表記)	子ども・子育て家庭と現代社会 (Children, child care home and modern society)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	村田 和子、金川めぐみ、衣斐 哲臣、二宮 衆一、ゲスト講師		
開講	岸和田サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	① 10月10日(土) 13:00~17:00	④ 11月28日(土) 13:00~17:00	
	② 10月31日(土) 13:00~17:00	⑤ 12月12日(土) 13:00~17:00	
	③ 11月21日(土) 13:00~17:00	⑥ 12月19日(土) 13:00~17:00	

【授業のねらい・概要】

家庭・学校・社会における教育の営みについての理解を深め、子ども・子育て家庭をめぐる現代社会の諸問題(子どもの貧困、虐待、学校教育、子どもの放課後、社会的養護)について考察します。

さらに、子育て・家庭教育支援、学校地域連携の本質や支援が求められる背景、子ども・子育て家庭を支える社会資源の実際や子ども・子育てに関する法・制度についても学びます。

【授業計画】※記載の内容は変更することもあります。

第1回 「子ども・子育て家庭と現代社会」総論及び家庭・学校・地域の「連携論」

村田 和子 (紀伊半島価値共創基幹・教授)

第2回 ひとり親、ジェンダー論

金川めぐみ (経済学部・准教授)

第3回 子どもの虐待

衣斐 哲臣 (教職大学院・教授)

第4回 社会的養護

【ゲスト】桑原 義登 (和歌山信愛大学教育学部・教授、わかやま子ども学総合研究センター長)

第5回 学校教育と子どもの放課後

二宮 衆一 (教育学部・准教授)

第6回 子ども・子育て家庭と現代社会 受講生による学びの成果の発表、講義のふりかえり、まとめ

村田 和子、金川めぐみ、【ゲスト】市原 悟子 (社会福祉法人アトム共同福祉会理事長)

【到達目標】

家庭・学校・社会における教育の営みについての基本を理解することができる。

現代の子ども・子育て家庭を取り巻く諸課題、社会資源、法制度について理解する。

市民社会の形成者の一人として、子ども・子育て家庭における諸課題の解決に向けた取り組みを知り、批判的に考察することができる。

【教科書】

特に定めません

【参考書・参考文献】

適宜提示します。

【履修上の注意・メッセージ】

基礎知識がなくても理解できるように授業を構成しますが、社会人とともに学ぶ意欲のある学生の参加を期待します。講義は、毎回講師がかわり、一回完結です。

【授業時間外学習についての指示】

受講者には、事前にアンケート(属性、受講動機、要望等把握するため)を実施します。また、Moodleに音声入りのオリエンテーションを提示し、事前に視聴いただくようにします。

【その他連絡事項】

今回はオンライン授業になります。ネット環境のもとで、テレビ会議で使用するZoom(ズーム)を使用します。事前にパソコンにダウンロードする必要があります。またMoodle(ムードル)という学習支援システムを使い、動画視聴や資料のダウンロードが可能になります。